2024年度 事業報告

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

当財団は、「産業、経済、文化の発展に貢献する科学技術、芸術等を中心とする分野で著しい貢献をした者の顕彰、研究又は普及啓発に対する助成等を通じてその促進を図るとともに国際相互理解の増進に努め、もって社会の啓発に貢献し、人類の平和と繁栄に寄与する」ことを目的として、1984年(昭和59年)4月12日に設立され、1985年(昭和60年)に第1回京都賞授賞式、第1回研究助成金贈呈式を開催して事業を開始した。2024年度の主要事業の活動概要を、次のとおり報告する。

2021 「及り工女事来り旧勤院女と、人りこゆり報告」の

I. 顕彰事業

1. 第38回(2023)京都賞に関する事項

(1) 英国オックスフォード大学における「Kyoto Prize at Oxford」の開催支援 2024年5月7日~8日(現地時間)、第38回(2023)京都賞受賞者を迎えて開催された英 国オックスフォード大学主催の「Kyoto Prize at Oxford」を支援した。

2. 第39回(2024)京都賞に関する事項

(1)京都賞審査機関による審査

2024年4月6日、2023年度に開催された各部門専門委員会及び審査委員会に引き続き 京都賞委員会を開催し、受賞候補者の審査を行った。

(2) 受賞者の決定

2024 年 5 月 30 日、定時理事会において第 39 回(2024)京都賞受賞者を次のとおり決定した。

① 先端技術部門受賞者

ジョン・ペンドリー (John Pendry)

職 業:理論物理学者

インペリアル・カレッジ・ロンドン 理論固体物理学教授

業 績:

「メタマテリアルの理論構築による材料科学分野への貢献」

対象とする電磁波の波長より小さな微細構造体を設計することにより、負屈折材料など自然界に存在しない性質を持つ物質(メタマテリアル)が実現できることを理

論的に示し、サブ波長の解像度を持つ「スーパーレンズ」や「透明マント」等の革 新的材料を生み出すための基盤を築いた。

② 基礎科学部門受賞者

ポール・F・ホフマン (Paul F. Hoffman)

職 業:地質学者

ビクトリア大学(カナダ) 客員教授 ハーバード大学 スタージス・フーパー地質学名誉教授

業績:

「生命進化の加速につながった全球凍結と地球史前半までさかのぼるプレートテクトニクスの実証」

50 年以上に及ぶ北極圏カナダとアフリカにおける膨大で徹底したフィールド調査から得た地質学的証拠により、多様な生命にあふれる今日の地球表層環境を作り出すことになった要因である「全球凍結」と「プレートテクトニクス」に関して画期的な業績を挙げた。

③ 思想·芸術部門受賞者

ウィリアム・フォーサイス (William Forsythe)

職 業:振付家

業績:

「舞踊の技法と美学を根底から刷新し、身体表現の新たな地平を開いた振付家」 ウィリアム・フォーサイスは、伝統的なバレエの表現技法、構造、規範を深く考察 することでその概念を拡張し、実践を豊かにし、舞踊形式の将来にわたる可能性を 一新した振付家である。舞踊実践を支える論理に革新的なアプローチを行うことに より、組織化された身体運動による意味の生成過程を問い直し続けている。

(3) 受賞者の発表

2024年6月14日、第39回(2024)京都賞受賞者を記者会見において発表した。

(4) 京都賞審査機関委員の公表

受賞者の発表に併せて、第39回(2024)京都賞審査機関委員を次のとおり公表した。

[京都賞委員会]

榊 裕之(委員長) 奈良国立大学機構 理事長

巌佐 庸 九州大学 名誉教授

岡村 定矩 東京大学 名誉教授

中条 省平 学習院大学 文学部 教授

長木 誠司 東京大学 名誉教授

成宮 周 京都大学 大学院医学研究科

メディカルイノベーションセンター センター長

橋本 和仁 科学技術振興機構 理事長

森 重文 京都大学 高等研究院 院長・特別教授

鷲田 清一 大阪大学 名誉教授

[審査委員会]

① 先端技術部門

橋本 和仁(委員長) 科学技術振興機構 理事長

相田 卓三 理化学研究所 創発物性科学研究センター グループディレクター

片岡 一則 (公財)川崎市産業振興財団 副理事長

東京大学 名誉教授

栗原 和枝 東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授

キオクシア(株) メモリ技術研究所 元参事 中村 志保

波多野 睦子 東京工業大学 工学院 教授

松原 英一郎 早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 研究院客員教授

森 初果 東京大学 物性研究所 教授

② 基礎科学部門

岡村 定矩(委員長) 東京大学 名誉教授

井田 茂 東京工業大学 地球生命研究所 教授

梅村 雅之 筑波大学 特命教授

川勝均 東京大学 名誉教授

東京大学 大学院理学系研究科 教授 田村 元秀

永原 裕子 東京工業大学 地球生命研究所 フェロー

海洋研究開発機構 アプリケーションラボ 特任上席研究員 山形 俊男

山崎 典子 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授

③ 思想·芸術部門

中条 省平(委員長) 学習院大学 文学部 教授

内野 儀 学習院女子大学 国際文化交流学部 教授

岡室 美奈子 早稲田大学 文学学術院 教授

明治学院大学 文学部 教授 斉藤 綾子

大阪大学 中之島芸術センター 特任教授(常勤) 永田 靖

長野 由紀 舞踊評論家

専修大学 文学部 教授 貫 成人

萩尾 瞳 映画・演劇評論家

[専門委員会]

① 先端技術部門

栗原 和枝(委員長) 東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授

北川 宏 京都大学 大学院理学研究科 教授

田島 節子 大阪大学 名誉教授

田中 功 京都大学 大学院工学研究科 教授

永長 直人 理化学研究所 基礎量子科学研究プログラム ディレクター

中村 栄一 東京大学 大学院理学系研究科 特別教授

濵地 格 京都大学 大学院工学研究科 教授

横山 直樹 富士通(株) 名誉フェロー

② 基礎科学部門

永原 裕子 (委員長) 東京工業大学 地球生命研究所 フェロー

磯﨑 行雄 東京大学 名誉教授

河合 誠之 東京工業大学 名誉教授

柴田 一成 同志社大学 理工学部 特別客員教授

田近 英一 東京大学 大学院理学系研究科 教授

山本 智 総合研究大学院大学 理事・副学長

吉田 道利 自然科学研究機構 国立天文台 特任教授

余田 成男 京都大学 国際高等教育院 副教育院長

③ 思想·芸術部門

永田 靖(委員長) 大阪大学 中之島芸術センター 特任教授(常勤)

尼ヶ崎 彬 舞踊評論家

石坂 健治 日本映画大学 映画学部 学部長

太田 耕人 京都教育大学 学長

木下 千花 京都大学 大学院人間·環境学研究科 教授

小菅 隼人 慶應義塾大学 理工学部 教授

藤岡 朝子 認定 NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭 副理事長

森 立子 日本女子体育大学 体育学部 教授

(肩書は2024年6月1日現在)

3. 第39回(2024)京都賞授賞式及び関連行事の開催

(1) 第39回(2024)京都賞授賞式

日 時:2024年11月10日(日)15:00

場 所:国立京都国際会館 メインホール

受賞者:ジョン・ペンドリー博士(先端技術部門)

ポール・F・ホフマン 博士 (基礎科学部門)

ウィリアム・フォーサイス 氏(思想・芸術部門)

出席者数:700名

祝辞: 石破茂 内閣総理大臣

内 容: 各国大使、総領事をはじめ、国内外から多くの招待者を迎えて授賞式を開催

した。式典では、稲盛財団会長 中西 重忠から受賞者へ、京都賞メダルとディ

プロマ、賞金1億円が贈られ、受賞者は受賞にあたってのスピーチを行った。

また、内閣総理大臣から祝辞が寄せられ、受賞者の栄誉を讃えた。

(2)晚餐会

日 時:2024年11月10日(日)18:15

場 所:ザ・プリンス 京都宝ヶ池

出席者数:450名

内 容:晩餐会を開催し、多くのご来賓とともに受賞者を祝福した。

(3) 記念講演会

日 時:2024年11月11日(月)13:00

場 所:国立京都国際会館 メインホール

出席者数:1,100名

演 題:「私の人生と科学」 ジョン・ペンドリー 博士

「遠い地質時代を踏破する」 ポール・F・ホフマン 博士

「ときに、わたしは花々にキスをする」 ウィリアム・フォーサイス 氏

内 容:受賞者が上記のテーマで講演を行い、自身の研究や創作を通じて培われた人

生観や世界観を披露した。

後 援:京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高

等学校連合会、大学コンソーシアム京都、京都商工会議所、京都新聞、朝日 新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、共同通信

社、時事通信社、NHK、KBS 京都、エフエム京都

(4) ポール・F・ホフマン博士 京都賞受賞記念 東京講演

日 時:2024年11月14日(木)17:00

場 所:東京大学 駒場キャンパス

出席者数:200名

内 容:ポール・F・ホフマン博士、スノーボール・アース仮説の提唱者であるジョ

セフ・カーシュヴィンク博士が登壇し、それぞれ講演を行った。

主 催:東京大学 駒場・宇宙地球教室

後 援:公益財団法人稲盛財団、日本地質学会、地球惑星科学連合

(5) 米国サンディエゴにおける「Kyoto Prize Symposium」の開催支援及び寄附

2025 年 3 月 11 日~13 日 (現地時間)、第 39 回(2024)京都賞受賞者を迎えて、米国サンディエゴにて開催された「Kyoto Prize Symposium」の開催を支援した。また、2023 年 3 月再調印の覚書に基づき、主催の京都賞シンポジウム組織及び共催大学 (カリフォルニア大学サンディエゴ校、ポイント・ロマ・ナザレン大学)に対して、2 回目 35 万ドルの寄附を実施した。(2023 年度から 2026 年度までの 4 年間で総額 140 万ドルを寄附)

4. 第40回(2025)京都賞に関する事項

(1) 京都賞審査機関委員の委嘱

2023 年 10 月 6 日の決議の省略の方法による臨時理事会において選任された第 40 回 (2025)京都賞審査機関委員に対し、2024 年 9 月 8 日に開催した第 40 回 (2025)京都賞合同委員会において正式に委嘱を行った。

(2) 推薦依頼書の発送

2024年5月、推薦依頼方針に基づいて選ばれた国内、海外の有識者に対して、郵送もしくはメールにて受賞候補者推薦の依頼を行った。

(3) 推薦の受付

2024年7月10日をもって推薦書の受付を締め切った。

(4) 京都賞審査機関による審査

授賞対象分野毎に専門委員会を各4回計12回、審査委員会を各2回計6回開催した。

5. 第41回(2026)京都賞に関する事項

(1) 授賞対象分野の決定

2024年10月4日、決議の省略の方法による臨時理事会において第41回(2026)京都賞 授賞対象分野を次のとおり決定した。

先端技術部門 :エレクトロニクス

Electronics

基礎科学部門 :生物科学(進化・行動・生態・環境)

Biological Sciences (Evolution, Behavior, Ecology, Environment)

思想·芸術部門:音楽

Music

(2) 京都賞審査機関委員の決定

2024 年 10 月 4 日、決議の省略の方法による臨時理事会において第 41 回(2026)京都賞審査機関委員を選任した。

Ⅱ. 研究助成事業

1.稲盛研究助成

(1) 2024 年度稲盛研究助成に関する事項

① 2024 年度稲盛研究助成金贈呈式の開催

日 時:2024年4月13日(土)13:50

場 所:ザ・プリンス 京都宝ヶ池

出席者数:130名

内 容:2024年3月8日の定時理事会において承認された50件に対し、総額5,000

万円の贈呈を行った。また贈呈式に引き続いて、2024年度盛和スカラーズソ サエティ交流会が開催され、盛和スカラーズソサエティ会員によるポスター

発表が行われた。

※ 附属明細1「2024年度研究助成事業 稲盛研究助成対象者並びに研究題目」を参照

(2) 2025 年度稲盛研究助成に関する事項

① 応募受付の開始

2024年7月1日、2025年度稲盛研究助成の申請書の受付を開始した。

② 応募の締切

2024年7月31日をもって申請書の受付を締め切り、105の大学及び研究機関より405件の応募を得た。この応募分について、各委員による予備選考を行った。

③ 稲盛研究助成選考委員会による選考

2024年12月6日と12月7日に稲盛研究助成選考委員会を開催し、50件 5,000万円の助成対象者の選考を行った。

④ 稲盛研究助成対象者の決定と発表

2025 年 3 月 7 日、定時理事会において 2025 年度稲盛研究助成対象者及び助成金額を決定し、プレス発表を行った。

※ 附属明細 2「2025 年度研究助成事業 稲盛研究助成対象者並びに研究題目」を参照

⑤ 稲盛研究助成選考委員の公表

助成対象者の発表に併せて、2025年度稲盛研究助成選考委員を次のとおり公表した。

[2025年度稲盛研究助成選考委員]

巌佐 庸 九州大学 名誉教授

[自然科学系]

審良 静男 大阪大学 ワクチン開発拠点

先端モダリティ・DDS研究センター 拠点長

上田 正仁 東京大学 大学院理学系研究科 教授

影山 龍一郎 理化学研究所 脳神経科学研究センター センター長

片岡 一則 (公財)川崎市産業振興財団 副理事長

東京大学 名誉教授

君塚 信夫 九州大学 大学院工学研究院 主幹教授

経塚 淳子 東北大学 大学院生命科学研究科 教授

佐々木 節 東京大学 国際高等研究所

カブリ数物連携宇宙研究機構 特任教授

坪井 俊 東京大学 名誉教授

西田 栄介 理化学研究所 生命機能科学研究センター センター長

野田 進 京都大学 大学院工学研究科 教授

安浦 寛人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 副所長

柳田 素子 京都大学 大学院医学研究科 教授

山田 容子 京都大学 化学研究所 教授

[人文·社会科学系]

井野瀬 久美惠 人間文化研究機構 監事

玄田 有史 東京大学 社会科学研究所 教授

河野 哲也 立教大学 文学部 教授

山室 信一 京都大学 名誉教授

渡辺 千原 立命館大学 法学部 教授

(肩書は2025年3月1日現在)

(3) 2026 年度稲盛研究助成に関する事項

① 稲盛研究助成プログラムの拡充

2024年10月4日、臨時理事会において従来の稲盛研究助成プログラムを拡充した新規 プログラムにて設ける2つのコースの名称を「はぐくむ」「たかめる」とすることが承 認され、2025年1月20日、新コース設立について記者会見を行った。

② 稲盛研究助成選考委員の決定

2025年3月7日、定時理事会において2026年度稲盛研究助成選考委員を選任した。

2. 稲盛科学研究機構 (InaRIS) フェローシップ

(1) 2024 年度稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

2024 年度 InaRIS フェロー授与式の開催

2024 年 4 月 20 日、ホテルオークラ京都において 2024 年度 InaRIS フェロー授与式を開催し、2024 年 3 月 8 日の定時理事会において承認された 2 名に対して、認定書を贈呈するとともに、InaRIS フェローの称号を授与した。

② InaRIS フェローに対する助成金の贈呈

2024 年度に活動する 10 名の InaRIS フェローに対し、各 1,000 万円、総額 1 億円の助

成金贈呈を行った。(各 InaRIS フェローに対する助成金は、1 年あたり 1,000 万円、10 年間合計 1 億円とする。)

③ InaRIS 運営委員会の開催

2024年3月8日の定時理事会において承認された2024年度 InaRIS 運営委員により、2024年10月17日と2025年1月23日に、InaRIS 運営委員会を開催した。

[2024 年度 InaRIS 運営委員]

中西 重忠(機構長) 京都大学 名誉教授

岡田 清孝 京都大学 名誉教授

小林 誠 高エネルギー加速器研究機構 特別栄誉教授

榊 裕之 奈良国立大学機構 理事長

西尾 章治郎 大阪大学 総長

森脇 淳 中部大学 人間力創成教育院 教授

山中 伸弥 京都大学 iPS 細胞研究所 名誉所長・教授

(肩書は2024年3月1日現在)

④ 2024年度中間審査会の開催

2024年10月17日、2024年度中間審査会を開催し、助成開始から3年目のInaRISフェローより、3年間の研究成果と今後3年間の研究計画の報告を受けた。

⑤ アドバイザリー・ボード・ミーティングの開催

2024 年 10 月 17 日と 10 月 18 日に 2024 年度アドバイザリー・ボード・ミーティングを 開催し、在籍する InaRIS フェローより、1 年間の研究成果と今後 1 年間の研究計画の 報告を受けた。

(2) 2025 年度稲盛科学研究機構 (InaRIS)フェローシップに関する事項

① 応募受付の開始

2024年5月20日、対象領域を「数学の深化と展開」とする2025年度 InaRIS フェローシップの申請書の受付を開始した。

② 応募の締切

2024年8月7日をもって申請書の受付を締め切り、22の大学及び研究機関より29件の応募を得た。

③ InaRIS フェロー選考委員会による選考

2024年11月16日と12月22日にInaRIS選考委員会を開催し、InaRISフェロー候補者の選考を行った。

④ InaRIS フェローの決定

2025年3月7日、定時理事会において2025年度 InaRIS フェローを決定し、3月14日 にプレス発表を行った。

※ 附属明細 3「2025 年度研究助成事業 稲盛科学研究機構 (InaRIS)フェロー」を参照

⑤ InaRIS フェロー選考委員の公表

InaRIS フェローの発表に併せて、2025 年度 InaRIS フェロー選考委員を次のとおり公表した。

[2025 年度 InaRIS フェロー選考委員]

齋藤 政彦(委員長) 神戸学院大学 経営学部 教授

合原 一幸 東京大学 特別教授

新井 仁之 早稲田大学 教育·総合科学学術院 教授

小磯 深幸 九州大学 名誉教授

國府 寛司 京都大学 理事・副学長

志甫 淳 東京大学 大学院数理科学研究科 教授

清水 扇丈 京都大学 大学院理学研究科 教授

西浦 廉政 北海道大学 名誉教授

(肩書は2025年3月1日現在)

⑥ 運営委員の決定

2025年3月7日、定時理事会において2025年度InaRIS運営委員を選任した。

(3) 2026 年度稲盛科学研究機構 (InaRIS)フェローシップに関する事項

① 対象領域の決定

2025 年 1 月 23 日、運営委員会において 2026 年度 InaRIS 対象領域を「非平衡科学の展開」と決定した。

② InaRIS フェロー選考委員の決定

2025 年 3 月 7 日、定時理事会において 2026 年度 InaRIS フェロー選考委員を選任した。

Ⅲ. 社会啓発事業

1. こどものキヅキ応援プロジェクトの推進

「こどもたちが不思議を見つけて、自ら深め、連鎖的に増やすことを応援する」をコンセプトに、こどもたちのキヅキを促し、受け止め、答えを出す場ではなく自分で調べてみようと思うきっかけとなる場を提供した。

(1) こども科学博

2024年8月2日、3日、4日の3日間、京都市勧業館(みやこめっせ)において、小学生向け科学の祭典「こども科学博2024」を開催し、「テクノロジーのチカラ」をテーマに、想像力を使って工夫する、試行錯誤する、新しいアイデアを発見するといった体験を通して、未来を切り開く探求力と論理的思考力を育む場を提供した。3日間で延べ5,200名が来場し、約4,900個のキヅキが集まった。

(2) キヅキランド

身のまわりの不思議を見つけるウェブサイト「キヅキランド」の運用を行い、不思議を見つけてふくらませる体験を全国の小学生に届けるため、以下の活動を展開した。また、ワークショップツール「キヅキランドメーカー」の利用促進を行った。

- ・2024年7月3日、同志社小学校理科教諭 川崎公美子氏が顧問を担当する理科クラブの一環として、同サイトを活用した取り組みが開催された。5、6年生約20人が参加した。
- ・2025 年 2 月 9 日、愛知大学教授 西本昌司氏(街角地質学者)をゲストに迎え、 オンラインワークショップを開催した。

(3) キヅキひろば

コンセプトに共感するパートナーと協働し、次の活動を展開した。

- ・2025年3月22日、京都市青少年科学センターに寄贈した新展示「ふしぎを見つける宇宙の旅」の完成を記念し、ワークショップ「風船ロケット発射!」「重力と模様のふしぎ」を開催し、小学生約40人が参加した。
- ・2025年3月29日、つくるまなぶ京都町家科学館と協働し、京都市動物園の協力 を得て、ワークショップ「おふとんってどうして気持ちいいの?~京都市動物園 の鳥に聞いてみよう!」を開催した。小学生約40人が参加した。

2. 「INAMORI ミュージック・デイ」の開催

京都市交響楽団や招聘アーティストと協力して、文化芸術振興を目的としたプログラム「INAMORI ミュージック・デイ」を開催した。毎年11月3日「文化の日」に、京都市交響楽団と招聘アーティストによるコンサートを開催するとともに、ミニコンサートやスクールコンサート等の音楽イベントを同時期に企画し、より多くの方々が音楽と出会う機会を創出した。

(1) シンフォニックコンサート

2024年度より「シンフォニックコンサート」と題を改め、2024年11月3日、世界で活躍する音楽家のジョン・アクセルロッド(指揮)、三浦文彰(ヴァイオリン)、ユンソン(チェロ)を招聘し、ロームシアター京都において、京都市交響楽団との共演コンサートを開催した。来場者数は約1,500名、そのうち中高生を対象に約300名を無料招待した。

(2) ミニコンサート

2024年8月10日、京都市京セラ美術館において、9月15日と10月13日、京都国立近代美術館において、京都市交響楽団のメンバーによるミニコンサートを開催した。

(3) スクールコンサート&レッスン

2024年10月31日、ジョン・アクセルロッド(指揮)、三浦文彰(ヴァイオリン)、ユンソン(チェロ)を招聘し、京都府立宮津天橋高等学校において、全校生徒及びその保護者を対象にスクールコンサートを開催するとともに、吹奏楽部に対しレッスンを実施した。

3. 「京都大学ー稲盛財団合同京都賞シンポジウム」の支援及び寄附

2025 年 2 月 8 日、京都大学との共催により「第 11 回 京都大学-稲盛財団合同京都賞シンポジウム」を「地震の深層/真相を探る」をテーマに開催し、本テーマを専門とする京都大学及び東京大学の研究者らによる講演やパネルディスカッションを通して、一般の方々が最先端の学術研究の知に触れる機会を提供した。また、2022 年 3 月に再調印した寄附覚書に基づき、第 3 回 2,000 万円の寄附を実施した。(2022 年度から 2025 年度までの 4 年間で総額 8,000 万円を寄附予定)

4. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援

当財団からの寄附金(総額1,100万ドル)で設立されたケースウエスタンリザーブ大学「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動を支援した。

Ⅳ. その他の活動

1. 会議の開催状況

理事会、評議員会を次のとおり開催し、全ての議案が原案のとおりに承認可決された。

(1) 理事会

定時理事会

日 時:2024年5月30日(木)

議 案:2023年度事業報告及び決算報告の件

第39回(2024)京都賞受賞者承認の件

定時評議員会開催の件

報告事項:代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

第38回(2023)京都賞海外関連行事の件

主要日程の件

臨時理事会(決議の省略の方法による)

日 時:2024年6月14日(金)

議 案:京セラ株式会社第70期定時株主総会議決権行使の件

臨時理事会(決議の省略の方法による)

日 時:2024年10月4日(金)

議 案:第41回(2026)京都賞授賞対象分野の件

第41回(2026)京都賞審査に係る委員選任の件

稲盛研究助成規程改正の件

臨時評議員会開催の件

定時理事会

日 時:2025年3月7日(金)

議 案: 2025 年度 InaRIS フェロー並びに助成金額承認の件

2025 年度 InaRIS 運営に係る委員選任の件

2026 年度 InaRIS フェロー選考に係る委員選任の件

2025 年度稲盛研究助成対象者並びに助成金額承認の件

2026 年度稲盛研究助成選考に係る委員選任の件

2024 年度基本財産繰入れの件

2025 年度事業計画及び収支予算の件

報告事項:代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

特別顧問退任及び就任報告

第40回(2025)京都賞推薦状況報告 稲盛研究助成ロゴマーク制作の報告

主要日程の件

(2) 評議員会

定時評議員会

日 時:2024年6月14日(木)

議 案:2023年度事業報告及び決算報告の件

報告事項:代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

第38回(2023)京都賞海外関連行事の件

第39回(2024)京都賞受賞者の件

主要日程の件

臨時評議員会(決議の省略の方法による)

日 時:2024年11月15日(金)

議 案:評議員選任の件

2. 委員会等の開催状況

(1) 第39回(2024)京都賞顕彰事業の各委員会

開催日	名称	議題
2024. 4. 6	京都賞委員会	各部門受賞者審査

(2) 第40回(2025)京都賞顕彰事業の各委員会

開催日	名称		議題
2024. 9. 8	京都賞審査機関合同委員会		審查基本方針決定
2024. 11. 23	京都賞先端技術部門	第1回専門委員会	候補者審査
2024. 11. 24	京都賞思想・芸術部門	第1回専門委員会	候補者審査
2024. 11. 30	京都賞基礎科学部門	第1回専門委員会	候補者審査
2024. 12. 14	京都賞先端技術部門	第2回専門委員会	候補者審査
2024. 12. 15	京都賞思想・芸術部門	第2回専門委員会	候補者審査
2024. 12. 21	京都賞基礎科学部門	第2回専門委員会	候補者審査
2025. 1. 11	京都賞先端技術部門	第3回専門委員会	候補者審査
2025. 1. 12	京都賞思想・芸術部門	第3回専門委員会	候補者審査
2025. 1. 13	京都賞基礎科学部門	第3回専門委員会	候補者審査
2025. 2. 1	京都賞先端技術部門	第4回専門委員会	候補者審査
2025. 2. 2	京都賞思想・芸術部門	第4回専門委員会	候補者審査
2025. 2. 8	京都賞基礎科学部門	第4回専門委員会	候補者審査
2025. 2. 22	京都賞先端技術部門	第1回審査委員会	候補者審査
2025. 2. 23	京都賞思想・芸術部門	第1回審査委員会	候補者審査
2025. 3. 1	京都賞基礎科学部門	第1回審査委員会	候補者審査
2025. 3. 15	京都賞先端技術部門	第2回審査委員会	候補者審査
2025. 3. 16	京都賞思想・芸術部門	第2回審査委員会	候補者審査
2025. 3. 20	京都賞基礎科学部門	第2回審査委員会	候補者審査

(3) 研究助成事業の各委員会

開催日	名称	議題
2024. 10. 17	2024 年度第 1 回 InaRIS 運営委員会	運営に関する事項
2024. 10. 17	2024 年度中間審査会の開催	InaRIS 研究報告
2024. 10. 17	2024 年度アドバイザリー・ボード・ミーティング	InaRIS 研究報告
2024. 10. 18	2024 年度アドバイザリー・ボード・ミーティング	InaRIS 研究報告

2024. 11. 16	2025 年度 InaRIS フェロー 第 1 回選考委員会	フェロー選考
2024. 12. 6	稲盛研究助成選考委員会 人文・社会科学系分科会	助成対象者選考
2024. 12. 7	稲盛研究助成選考委員会 自然科学系分科会	助成対象者選考
2024. 12. 22	2025 年度 InaRIS フェロー 第 2 回選考委員会	フェロー選考
2025. 1. 23	2024 年度第 2 回 InaRIS 運営委員会	運営に関する事項

3. 広報活動

(1) 記者発表の実施

実施日	内容	実施場所/配布
2024. 6. 14	第39回(2024)京都賞受賞者発表記者会見	ホテル日航プリン
		セス京都
2024. 6. 18	不思議と出会える夏休みの科学の祭典! こども科学博 2024	関係記者クラブ
	「テクノロジーのチカラ」を8月に開催(資料配付)	
2024. 7. 29	「INAMORI ミュージック・デイ 2024」	関係記者クラブ
	8月から11月にかけて京都府内で開催(資料配付)	
2024. 9. 27	第39回(2024)京都賞行事概要(資料配付)	関係記者クラブ
2024. 11. 10	第39回(2024)京都賞受賞者共同記者会見	国立京都国際会館
2025. 1. 20	稲盛研究助成 新コース「はぐくむ」「たかめる」設立 記者会見	稲盛財団
2025. 3. 4	京都市青少年科学センター 新展示「ふしぎを見つける宇宙	関係記者クラブ
	の旅」完成記念ワークショップのお知らせ(資料配布)	
2025. 3. 7	一研究者たちの独創的で多様な研究活動を支援―	関係記者クラブ
	2025 年度稲盛研究助成に 50 名を採択(資料配布)	
2025. 3. 14	2025 年度稲盛科学研究機構(InaRIS)フェロー決定 (資料配布)	関係記者クラブ

(2)刊行物の発行

発行月	内容	発行部数
2024. 10	稲盛財団 NEWS 108 号	3,000 部
2025. 2	稲盛財団 NEWS 109 号	3,000部

(3) 電子媒体による情報発信

以下の電子媒体によって、京都賞や稲盛財団の活動に関連する情報を発信した。

・稲盛財団ホームページ(日・英)

・京都賞紹介サイト (日・英)

・Facebook 「京都賞-Kyoto Prize」(日・英)

配信:計83回(日:54回/英:29回)

・X 「Kyoto Prize」「Inamori News」(日・英)

・メールマガジン 「稲盛財団 Magazine」(日)

配信:計12回(2024年4月、5月、6月2回、7月、8月、

9月、11月、12月、2025年1月、2月、3月)

「Inamori Foundation e-Newsletter」(英)

配信: 計10回(2024年4月、5月、6月2回、7月、9月、

10月、11月、2025年1月、2月)

「3S Magazine (3S 会員専用)」

配信:計6回(2024年5月、7月、10月、12月、2025年1月、

3月)

「キヅキランド」

配信:計3回(2024年5月、7月、2025年1月)

(4) 京都市京セラ美術館「京都賞コーナー」の展示運用管理

受賞者の考えや生き方にふれることを目的に、京都市京セラ美術館の東広間に常設展示している「京都賞コーナー」への理解を促すための課題抽出、施策の検討を行った。

(5) 京都市青少年科学センター 新展示「ふしぎを見つける宇宙の旅」の公開

2025 年 3 月 14 日、「こどものキヅキ応援プロジェクト」の一環として、こどもたちが「ふしぎ」に気付き、自ら探求し、学びを深めていくことを目的とした「ふしぎを見つける宇宙の旅」と題する体験型の展示を京都市青少年科学センターに寄贈し、公開した。

2024年度助成事業 稲盛研究助成対象者並びに研究題目

	対象者	研究題目
	アベ ョシアキ 安部 佳亮 筑波大学 医学医療系 講師	リンパ腫内マイナーポピュレーションT細胞の機能と 臨床的意義の解析
	イツクシマ レイ 厳島 怜 九州工業大学大学院 工学研究院 准教授	河川地形の遷急点に着目した伏在活断層の探査手法の 構築
	ゥラノバ ダナ ウラノバ ダナ 高知大学 教育研究部総合科学系 講師	「微生物の会話」を分子レベルで解読し天然化合物探索に役立てる
	オオノ ヒロヒサ 大野 博久 京都大学 iPS細胞研究所 特定拠点助教	精密な遺伝子発現制御を可能とする人工RNAの開発
	オカムラ ヒデノリ 岡村 秀紀 東北大学 多元物質科学研究所 助教	細胞内光分子構築法の創成と薬理活性制御への応用
	オザワ タカアキ 小澤 貴明 大阪大学 蛋白質研究所 助教	最先端多領域光ドーパミン計測と光神経操作による恐怖学習制御メカニズムの解明
自然	コジマ シュン 小島 駿 東京大学 生産技術研究所 特任助教	可視光通信システムにおける物理層秘密鍵生成法の開 発
科学系	コバヤシ キョウゴ 小林 曉吾 九州大学 大学院理学研究院 助教	場所に関する記憶の識別に関与する細胞基盤の解明
	_{サカマキ} ジュンイチ 坂巻 純一 順天堂大学 医学部 准教授	オルガネラ膜脂質のユビキチン化の普遍性、分子基盤、 生物学的意義の解析
	シバタ シュン 柴田 峻 東北大学 大学院医学系研究科 助教	ヒト胚着床オルガノイドモデルを用いた妊娠免疫母子 間ネットワーク機構の深層解明
	シモモト ヒロアキ 下元 浩晃 愛媛大学 大学院理工学研究科 准教授	立体規則性が制御された易分解性アクリル樹脂の開発
	シュウ ウェイウェイ 周 偉偉 東北大学 大学院工学研究科 准教授	レーザ粉末床溶融結合法による多機能セラミックスの 創製
	シライシ タカヒサ 白石 貴久 熊本大学 先進マグネシウム国際研究センター 准教授	特異な周期配列構造の自己形成メカニズムの解明: チ タン合金の開発
	スズキ ヤスヒト 鈴木 祥仁 大阪公立大学 大学院工学研究科 准教授	重合に誘起されるガラス化近傍での不均一性、非晶構造変化、化学反応速度の関係性

	対象者	研究題目
	スリアジャヤ アデ イルマ スリアジャヤ アデ イルマ 九州大学 大学院数理学研究院 准教授	リーマンゼータ関数と素数の間隔の分布
	セキ タカカズ 関 貴一 弘前大学 大学院理工学研究科 助教	界面振動分光法による,界面分子描像の三次元超解像顕 微鏡の開発
	タカイ アツロウ 高井 淳朗 物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センター 主任研究員	近赤外光電変換を実現するπ共役分子のワンステップ合成・高密度集積化
	タカエ キョウへイ 高江 恭平 東京大学 生産技術研究所 特任講師	スキルミオン凝縮相におけるダイナミクスの普遍構造
	タカハシ リョウ 髙橋 遼 お茶の水女子大学 基幹研究院 助教	温度ダイナミクスによるスピン流体発電の制御
	タグチ ジュンペイ 田口 純平 東京大学 医科学研究所 特任助教	遺伝子全長ヒト化マウスの汎用的作出を実現する基盤 技術の開発
自然科	チャダニ ユウヘイ 茶谷 悠平 岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 准教授	アミノ酸配列に秘匿された新規遺伝情報を自在制御する手法の開発
学系	ッカモト タカマサ 塚本 孝政 東京大学 生産技術研究所 講師	クラスター物質を基盤とする新物質化学領域の開拓
	ツネマツ トモミ 常松 友美 北海道大学 大学院理学研究院 講師	神経細胞に依存しない睡眠覚醒制御機構の解明
	テラカワ ツョシ 寺川 剛 京都大学 大学院理学研究科 助教	DNAカーテン1分子蛍光イメージングで探る転写因子 YY1のDNAループ形成分子機構
	トミダ ケンゴ 富田 賢吾 東北大学 大学院理学研究科 准教授	大規模並列計算に対応した輻射磁気流体シミュレーションコードAthena++の開発
	ニシグチ アキヒロ 西口 昭広 物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センター 主幹研究員	液-液相分離制御によるin vivo血管化技術の開発
	ノサキ ショウへイ 野崎 翔平 筑波大学 生命環境系 助教	アルギニンリッチなDNA結合タンパク質の分子機能および生物学的意義の解明
	ノモト マサノリ 野本 真順 富山大学 学術研究部医学系 准教授	睡眠中の脳の情報処理ルールを解読する

	対象者	研究題目
	ハヤシ カツマ 林 克磨 京都大学 大学院医学研究科 特定助教	感染の場の異質性を加味した感染症流行動態モデルの 構築
	ハヤシ ヒロノブ 林 宏暢 物質・材料研究機構 マテリアル基盤研究センター 主任研究員	水溶性有機多孔質ナノシートの開発と機能
	ヒライケ ユウタ 平池 勇雄 東京大学 保健・健康推進本部 助教	褐色脂肪細胞の鍵因子NFIAによる文脈特異的な転写制 御機構の解明
	フジイ シュン 藤井 瞬 慶應義塾大学 理工学部 助教	原子層二次元物質で機能化した超高Q値微小光共振器 による新奇ナノ光物性の開拓
	マエダ タクヤ 前田 拓也 東京大学 大学院工学系研究科 講師	新奇へテロ接合を利用した窒化物半導体高電子移動度 トランジスタに関する研究
自然科学	マルヤマ ケンタ 丸山 健太 愛知医科大学 医学部 教授	大腸癌の予防を目指した基礎的研究
	ミナミ サトシ 南 聡 大阪大学 大学院医学系研究科 特任助教(常勤)	1細胞RNAseq 解析を用いたAKI to CKD の病態解明 と治療応用
学系	ミナミタニ エミ 南谷 英美 大阪大学 産業科学研究所 教授	トポロジカルデータ解析を応用した酸化物ガラスの構造・物性相関の解明
	ヤマグチ エイジ 山口 英士 岐阜薬科大学 薬学部 講師	励起アニオン種の戦略的活用に基づく新しい可視光レ ドックス触媒化学
	ヤマミチ マサト 山道 真人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 准教授	迅速な進化と共存動態:理論と実証
	ロカタケ タカノリ 若竹 崇雅 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 助教	寄生植物と宿主植物の間で道管液が転流するしくみの 理解と制御
	ロタナベ ヒロコ 渡辺 寛子 東北大学 ニュートリノ科学研究センター 助教	海洋底地球ニュートリノ観測の実現を目指した光検出 器モジュールの開発
		小計 40件

	対象者	研究題目
	アダチ トモオ 安達 知郎 京都教育大学 大学院連合教職実践研究科 准教授	教師による倫理綱領作成を支援するプログラムの開発、 および効果測定
	オオヤマ タカトシ 大山 貴稔 九州工業大学 教養教育院 准教授	グローバル・サウスから見た「平和国家」の変質:メコン地域の開発援助関係者への聞き取りを通して
	オカモト ナオコ 岡本 尚子 人間文化研究機構 人間文化研究創発センター 研究員	『千一夜物語』仏語訳者JC.マルドリュス研究-地中 海地域における文学空間の実相解明に向けて
	オザキ ミツキ 尾﨑 充希 宮崎大学 教育学部 講師	肢体不自由特別支援学校の主体的・対話的で深い学びの 実現に向けたCO-OPを基盤とした授業づくり
人文・社会科学系	オマタラポー ヒトミ 小俣ラポー 日登美 京都大学 白眉センター 特任准教授	奇蹟という焦点——聖遺物をめぐる「事実」構築過程の 歴史
	カイデ ユウスケ 開出 雄介 北海道大学 大学院公共政策学連携研究部 准教授	気候変動に対処するための国際法の構造分析——約束 モデルと公益モデル——
	カワサキ ケンタロウ 川崎 賢太郎 東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授	農業発展と獣害に関する統計分析:ブータンを対象として
	コウ セイセイ 向 静静 立命館大学 立命館アジア・日本研究機構 助教	20世紀前半における日本漢方医学書の中国への影響:東 アジアの思想的交流の解明
	タシロ アイ 田代 藍 東京大学 未来ビジョン研究センター 特任講師	変容する新コモンズ管理論の構築:田んぼダムの意思決 定に関する実証研究
	モチヅキ ミキ 望月 美希 静岡大学 情報学部 助教	福島第一原発事故における「通い復興」と生活再建の現 状
		小計 10件
		合計 50件

※所属・役職は2024年3月8日時点

2025年度助成事業 稲盛研究助成対象者並びに研究題目

自然科学系(40件)

対象者	研究題目
イガ タカヒト 伊賀 隆史 慶應義塾大学 医学部 特任助教	加齢に伴う骨折治癒遅延の原因の解明
イカワ ケイスケ 井川 敬介 名古屋大学 大学院理学研究科 助教	不均一ながん微小環境で引き起こされる細胞間相 互作用機構の解明
イシイ ケイコ 石井 慶子 中央大学 理工学部 准教授	廃熱を必要に応じて取り出せる多機能性流体の創 生
イシザキ トモタカ 石﨑 友崇 名古屋大学 医学部附属病院 病院助教	ヒト脳内電極で脳深部の謎を解く:生理的視床神 経活動とてんかんの異常ネットワーク解明
イシバシ ミサキ 石橋 美咲 京都大学 大学院農学研究科 助教	イチゴの概日時計に対する器官別代謝リズムの影 響
イチカワ コウヘイ 市川 幸平 早稲田大学 理工学術院 准教授	すばる望遠鏡HSCダークな電波天体からさぐる最 遠方超巨大ブラックホールの探査
イチジョウ リョウ 一條 遼 京都大学 医生物学研究所 助教	毛包幹細胞遠隔制御メカニズムの解明
ウチヤマ ハルキ 内山 晴貴 名古屋大学 大学院工学研究科 助教	低電位析出による低次元材料/絶縁膜の界面エンジ ニアリング
オオマガリ シュン 大曲 駿 東京科学大学 物質理工学院 助教	超解像蛍光顕微鏡法と感温性希土類蛍光ナノビー ズを組み合わせた新規ナノ温度計測技術の概念実 証
オクイ マナブ 奥井 学 中央大学 理工学部 准教授	人工筋肉駆動打楽器演奏ロボットの開発を通した ヒトの脱力活用メカニズムの解明
カツハラ コウキ 勝原 光希 岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 助教	送粉者を介した競争関係にある植物の多種共存メカニズム
カラサワ タダョシ 唐澤 直義 自治医科大学 分子病態治療研究センター 講師	脂質代謝を標的とした順遺伝学による細胞死の制 御法の確立
キタヤマ ユキヤ 北山 雄己哉 大阪公立大学 大学院工学研究科 准教授	αリポ酸共重合体微粒子に対する界面光架橋反応 を利用したpH応答性・主鎖分解性高分子カプセル の開発
クスモト ソウタロウ 楠本 壮太郎 神奈川大学 化学生命学部 特別助教	有用な溶媒蒸気を汎用的に捕捉可能な高機能吸着 材料の開発

自然科学系

対象者	研究題目
コウサイ ショウキ 光斎 翔貴 立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構 准教授	乗り換えかレストアか?自動車の資源循環を踏まえた天然資源消費量の評価
サコダ マサヒト 迫田 將仁 北海道大学 大学院工学研究院 助教	強相関化合物CaRuO3で現れる桁外れなサイズ 効果のメカニズム解明
ササキ ヨウイチ 佐々木 陽一 九州大学 大学院工学研究院 助教	励起子分裂の光エネルギー貯蔵への応用
サナキ ユウヤ 佐奈喜 祐哉 筑波大学 生存ダイナミクス研究センター 助教	腸内細菌と生理学的ストレスがもたらす代謝脆 弱化機構
シラトリ ミホ 白鳥 美穂 順天堂大学 薬学部 准教授	一次求心性神経の遺伝子発現変化から迫る炎症 性皮膚疾患の病態解明
タカスギ マサキ 高杉 征樹 大阪公立大学 大学院医学研究科 講師	適応的な加齢変化とその制御機構の解明
タカノ テツヤ 高野 哲也 九州大学 高等研究院 准教授	高精度プロテオーム解析を用いたストレス応答 神経回路の分子レベルの解明と精神疾患の理解
タカハシ シュン 高橋 駿 京都工芸繊維大学 電気電子工学系 准教授	らせん型半導体フォトニック結晶を用いた電子 スピン制御
タカハシ シンタロウ 高橋 慎太郎 学習院大学 理学部 助教	脱テルル化反応を駆動力とする新規な典型元素 カップリング反応の探索
ナカタ ユウイチロウ 中田 雄一郎 千葉大学 大学院医学研究院 特任助教	メタボリックシンドロームが構築する心不全関 連エピジェネティックメモリーの制御機構の解 明
ナカノ リョウヘイ 中野 亮平 北海道大学 大学院理学研究院 教授	根圏常在細菌が分泌し宿主植物の成長を制御す る生理活性物質の同定
ナカムラ ユウスケ 中村 勇哉 名古屋大学 大学院多元数理科学研究科 准教授	周期グラフの数え上げ組合せ論への代数幾何学 の応用
ヒガシノ トモヒロ 東野 智洋 京都大学 大学院工学研究科 准教授	マッカイ結晶実現に向けた三次元周期構造を有するn共役分子の開発
ヒラノ アリサ 平野 有沙 筑波大学 医学医療系 助教	体温リズムを制御する神経メカニズムの解明

自然科学系

対象者	研究題目
フクシマ トモヒロ 福島 知宏 北海道大学 大学院理学研究院 講師	振動強結合下での水和イオンの物性制御
フルカワ カナ 古川 可奈 大阪大学 エマージングサイエンスデザインR3センター 特任助教	進化的に保存された気管組織ジャバラ様構造形 成メカニズムの解明
ホソノ ノブヒコ 細野 暢彦 東京大学 大学院工学系研究科 准教授	ナノポーラス材料を利用したタンパク質精製お よびリフォールディング技術の開発
マキノ シホ 牧野 支保 東京大学 定量生命科学研究所 助教	初期胚発生におけるRNA分解の選択性を生み出 す時空間的制御
ミャウチ エイジ 宮内 栄治 群馬大学 生体調節研究所 准教授	母体炎症による子の1型糖尿病増悪機序の解明
ミャモト ユウ 宮本 佑 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 特任助教 (常勤)	肝臓におけるマクロファージを基軸とした生体 防御バリアの実態解明
ムネカネ マサユキ 宗兼 将之 金沢大学 医薬保健研究域 助教	放射性ハロゲンで標識した抗体薬物複合体の開 発
モリモト サトル 森本 悟 慶應義塾大学 殿町先端研究教育連携スクエア 特任准教授	筋萎縮性側索硬化症における病態回避機構の解 明と治療法開発
ヤギタ ユウイチ 八木田 悠一 九州大学 基幹教育院 助教	タンパク質複合体を正しく組み立てる仕組みの 解明
ヤマネ ケイスケ 山根 啓輔 豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 准教授	シリコンフォトニクス応用に向けたIII族-V族 元素共添加ゲルマニウム発光素子材料の開発
ルジ トリシット ルジ トリシット 岡山大学 惑星物質研究所 准教授	地球外生命探査に向けた火星北極周辺の液体塩水の存否検証と水質推定
ロタナベ タカイチ 渡邉 貴一 岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域 准教授	リサイクル可能なイオン伝導性ビトリマーの開 発

人文·社会科学系(10件)

対象者	研究題目
アリイ ハルカ 有井 晴香 北海道教育大学 教育学部 准教授	エチオピア村落地域における性的マイノリティ による子育てにみる社会関係
イケハタ フキコ 池端 蕗子 立命館大学 衣笠総合研究機構 准教授	イスラーム的価値をめぐる競合と合意の国際政治:イスラーム協力機構を舞台としたイラン外 交の事例から
ウ カイシュン于 海春北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 助教	ソーシャルメディアデータを用いた中国のナ ショナリズムと科学的偽情報の実証分析
ウラタ マユ 浦田 真由 名古屋大学 大学院情報学研究科 准教授	世界遺産白川郷における地域住民および観光客の主観情報収集によるオーバーツーリズム指標の開発
ッナシマ ヒロユキ 綱島 洋之 大阪公立大学 都市科学・防災研究センター 特任講師	園芸療法の現象学—実践者の主観的経験の積極 的評価による「障害の社会モデル」の適用
ナリタ リュウイチロウ 成田 龍一朗 秋田大学 教育文化学部 助教	社会の分断に対するエゴイズム論の可能性—— ドラ・マースデンを手掛かりに
ハシグチ アキコ 橋口 晶子 筑波大学 医学医療系 助教	研究コミュニティによるピア評価は、新たな学 問分野を着想する専門家を見出し育成できるの か
ミズタニ トモヒコ 水谷 智彦 山形大学 地域教育文化学部 講師	戦前期における学校の選抜・配分機能をめぐる 考察 一大正期・昭和初期の「個性調査簿」に着目して
ミナリ ジュサク 三成 寿作 京都大学 iPS細胞研究所 特定准教授	ゲノム編集技術の急速な発展に伴うヒト受精卵 のあり方に関する倫理的考察
リ ナイキ 李 乃琦 名古屋大学 高等研究院 特任助教	「古代仏教辞典データベース」の構築と公開に 向けた基礎的研究

※所属・役職は2025年3月7日現在

2025年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェロー

採択 年度対象 領域InaRIS フェロー研究テーマ2020量子京都大学 基礎物理学研究所 教授 高柳 匡量子エンタングルメントから創 子重力理論2020量子東京大学 大学院総合文化研究科 准教授 野口 篤史誤り耐性量子計算のための超高 制御2021生命東京大学 先端科学技術研究センター 教授 西増 弘志新規 RNA 依存性酵素の探求	
教授 高柳 匡 子重力理論 2020 量子 東京大学 大学院総合文化研究科	
准教授 野口 篤史 制御 2021 生命 東京大学 先端科学技術研究センター 新規 RNA 依存性酵素の探求	高精度量子
2021 生命 北海道大学 低温科学研究所 教授 山口 良文 哺乳類の冬眠能を構成する因子 の機能検証	一同定とそ
2022 材料 東北大学 電気通信研究所 人工制御による物質・材料の 発現とコンピューティングへの	=
2022 材料 京都大学 高等研究院 生物情報起源材料用のマトリッと新機能の創出	,クス合成
2023 情報	こよるソフ
2023情報名古屋工業大学大学院工学研究科 教授内的特性に基づく触知覚の原理 報化	関解明と情
2024医学名古屋大学大学院医学系研究科 教授遺伝子制御情報の時空間進化の 測に基づくがん治療 DX	理解・予
2024 医学 東京大学 先端科学技術研究センター エクソソームが切り拓く疾患生 教授 星野 歩子	三物学
2025数学東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構 教授圏論的 Donaldson-Thomas 理語 た新たな研究領域の開拓	論を通じ
2025 数学 京都大学 高等研究院 教授 平岡 裕章 数学からヒト生物学への挑戦	

以上 12 名

※所属・役職は2025年3月1日現在